

Sunday Morning Workshop

* 要事前申し込み
* プチプレート、コーヒー付き

11.29sun 8:00~

和紙と北欧のコラボレーション

吉村祐樹 / Yuki YOSHIMURA
(九州産業大学 助教)

定員16名 所要約2時間
参加費:3000円(材料費込み)

既存の照明器具に日本の手すき和紙を使って北欧風にアレンジするワークショップ。柔らかな光を届けてくれる和紙と、昔から光を大切にしてきた北欧。「光を替えれば、夜の住空間は豊かになる」と信じています。手作りの柔らかな光で夜を心地よく過ごしませんか?



profile
九州産業大学工学研究科建築学専攻修了後、栃木県に移り住み、古民家の再生・運営や和紙工房にて職人しながら照明器具などを制作。現在は母校にて住居・インテリア学科助教。

12.6sun 8:00~

星型ペーパー照明作り

川崎英彦 / Hidehiko KAWASAKI
(有限会社ライトニック)

定員16名 所要約3時間
参加費:3000円(材料費込み)

北欧のクリスマスの窓辺を飾る星型照明。あなたのデザインでオンリーワンの星型照明を作りませんか? ホッと和む灯りをご自宅でもお楽しみください。尚、お持ち帰りの際は、折り畳んでコンパクトになります。



profile
春日市の照明デザイン事務所ライトニック代表。店舗、オフィス、住宅の照明デザインをはじめ、大濠公園のライトアップなどイルミネーションを手がける。

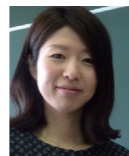
12.13sun 8:00~

木のテープを使った北欧風オーナメントづくり

中谷昭子 / Akiko NAKATANI
(九州造形短期大学 講師)

定員16名 所要約2時間
参加費:2000円(材料費込み)

森から生まれた素材を使ってぬくもりあふれるオーナメントを手作りしてみませんか。木の優しさを感じるデザインがお部屋に温かみを与えてくれます。ぜひともクリスマスのインテリアデコレーションにどうぞ。



profile
山口とフィンランドでデザインを学ぶ。主に自然素材を使用した作品を制作し、国内外で展示会に出品している。現在、九州造形短期大学で講師を務める。

12.20sun 8:00~

非常食になる堅パンで作るクリスマスオーナメント

三浦長弘 / Nagahiro MIURA
(ミウラパン)

定員10名 所要約3時間
参加費:2000円(材料費込み)

緊急時には非常食になりえる堅パンの生地を使用し、クリスマスツリーのオーナメントやクリスマスリースなど、ご自身の創意工夫で楽しみながら、世界に唯一の非常食を作りましょう。



profile
日常を旅するようにパンを焼く。福岡市を拠点に様々なライブイベントやマルシェに出展中のゲリラふるまい系お祭りパンスタイル。近年、震災をきっかけに研究をしている緊急時非常食になりえる堅パンの展示・販売、ワークショップも随時開催中。

Saturday Evening Talk Show

* 要事前申し込み
* プチプレート、コーヒー付き
* 各回定員40名 参加費:1500円

11.21sat 18:30~

北欧から学ぶ これからの日本の暮らしとデザイン

島崎信 / Makoto SHIMAZAKI (武蔵野美術大学 名誉教授、島崎信事務所)

私たち日本人の暮らしは、近代化によって便利になり進歩した反面、歴史や風土との連続性など、大切なものを失ってきているようにも思います。一方、デンマーク、フィンランドなどの北欧諸国は、歴史や風土との連続性を断つことなく、近代化との折り合いをうまくつけながら、優れた暮らし、デザイン、社会基盤などを作り上げてきました。日常の生活に美や豊かさを求める姿勢、常に人間を中心に物事を組み立てていく思想、機能的で且つ美しいデザイン、質の高いものを長い期間使い続ける姿勢、リノベーションの連続による都市の形成など、近代主義の限界、少子高齢化、ストック時代などを見据えて、これからの私たち日本の暮らしやデザインに対して北欧諸国から学べるということについて考えてみたいと思います。



profile
島崎信事務所代表。北欧建築・デザイン協会理事、日本フィンランドデザイン協会理事長、NPO法人東京・生活デザインミュージアム(Lidem)理事長。東京芸術大学卒。家具デザイナーの実務を経て、日本政府から、日本人で初めてデンマーク王立芸術アカデミー建築科に建築と家具デザインの研究員として派遣される。併せてコペンハーゲン技術大学家具科で木工技術を研究。帰国後、武蔵野美術大学インテリアコース、木工コースの創立にかかわり、2003年同大学名誉教授となる。

12.12sat 18:30~

フィンランドの魅力と楽しみ方 ~サウナからオーロラまで~

小泉隆 / Takashi KOIZUMI (九州産業大学 教授)

森と湖の国フィンランド。そこは美しい光の国でもあります。国土の1/3が北極圏に属し、夏には日が沈まない白夜、そして冬には気温は氷点下まで下がり、寒く暗く長い夜があります。このような特徴的な光や気候のもと、フィンランドには風土と歴史に根ざした素晴らしい文化と生活があります。古くから連続と続く森と湖と人々との親和的な関わり、フィンランド人の生活に欠かせないサウナ、夏のサマーコテージの生活、太陽の恵みを祝う夏至祭、夜空を彩るオーロラ、長く続く美しい夕焼けの時間帯、サンタクロースやムーミンとの出会い、冬のキャンドルや雪と氷のイベント、待ちこがれた春の陽光など。四季折々のフィンランドの魅力とその楽しみ方を紹介します。フィンランドへの旅を計画している方、必見です。



profile
九州産業大学工学部住居・インテリア設計学科 教授。神奈川県横浜出身。東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修了。光をテーマにした設計や研究活動を展開。2011年度より、東日本震災チャリティイベント「九州発北欧展」を実行委員長として毎年企画実施。主な著書:『アルヴァール・アールト 光と建築』(プチグラフィックズ、2013)『フィンランド 光の旅 北欧建築探訪』(同、2009)。

12.19sat 18:30~

幸福度世界一のデンマークとは?

長阿彌 幹生 / Mikio CHOUAMI (教育文化研究所 代表、福岡デンマーク協会 理事長)

世界が目指すデンマークの幸福度の高い暮らしとは? デンマークは幸福度だけでなく、民主主義度、政治透明度、食料自給率、自然エネルギー開発など、多くの点で世界中から注目を集めています。過去10回の渡航による取材や体験をもとに、北欧の小国が、なぜこのような優れた国づくりを実現しているかを、福祉や教育、政治、文化などの面から紹介します。そしてそれらより、私たち日本人が学び、模倣し、更には日本仕様にして取り込んでいくものは何かを考えます。今秋のデンマーク視察ツアーで得た最新のデンマーク情報なども紹介します。特に、今年6月の総選挙で中道左派から中道右派へと政権交代があり、政策の転換なども行われていて、これからデンマークがどのように変わろうとしているのかも考えます。



profile
北九州市生まれ。同志社大学卒業後、大手流通企業勤務等を経て、2000年「なかよし」な人間関係についての研究機関「教育文化研究所」を共同設立。2015年から一般社団法人福岡デンマーク協会理事長。その他、不登校サポートネット代表、NPO法人子どもNPOセンター福岡副代表理事、福岡市社会教育委員、福岡県青少年問題協議会専門委員など、教育や文化関連の活動に従事。テレビ、講演会、新聞、雑誌などへの出演や執筆なども多数。

お申込み
お問い合わせ

九州産業大学北欧展実行委員会

hokuouten@ip.kyusan-u.ac.jp 092-673-5787(平日9:00~16:00)

開催期間中の連絡先等は九州発北欧展2015HPに掲載

*ワークショップ、トークショーは定員になり次第締め切り。当日、空席があった場合のみ参加可。

